

ビワ生育情報

千葉県
平成23年11月号

平成23年10月の気象

平成23年10月の半旬別気象は表1に示した。平均気温は第2～第5半旬の4半旬で平年を上回った。月平均気温は18.3℃で平年より0.4℃、前年より0.1℃高かった。

降水量は第1及び第5半旬を除く4半旬で平年を下回ったが、第1及び第5半旬の降水量は平年より著しく多かった。月合計は324mmで平年より71mm(28%)多く、前年より80mm(20%)少なかった。

日照時間は第2、第3及び第6半旬で平年を上回った。月合計は139時間で平年より2時間(1%)、前年より49時間(54%)多かった。

表1 平成23年10月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	17.9	20.4	20.4	108	40	25	9	20	26
2	19.1	18.8	19.9	37	72	207	32	20	19
3	20.0	18.6	20.9	31	33	20	22	21	24
4	18.4	17.8	18.4	8	43	3	14	22	6
5	20.3	16.4	16.8	142	32	27	23	24	9
6	14.8	16.0	13.7	0	32	123	39	29	6
平均/計	18.3	17.9	18.2	324	253	404	139	137	90

12月の作業 (花房の発育は次ページ)

ビワの枝葉や根の活動は気温が低下するとほとんど停止するが、開花は続き、幼果はわずかながら肥大している。12月は寒害防止の準備を行い、来春の苗木の植え付け準備にとりかかる。

防寒の準備

開花期は全般的に平年並みからやや遅れると予想されるが、寒害には充分気を付ける。毎年1～2月に寒波が襲来しているため、年内から防寒の準備を始める。

幼木の防寒法としては、こも掛けあるいは枝を結束する方法があるので、あらかじめ資材を用意しておく。成木園では園内を加温する方法があるので、火点設置場所の整備、ヒーター及び燃料の手配をしておく。

植え付け(定植)と植え穴の準備

ビワの根の伸長は3月上旬から始まるので、2月中下旬頃が苗の植え付けの適期となる。他の果樹より定植時期が早いので、植え付け場所の整備を年内に済ませておく。改植の場合には、前作の根が残ると白紋羽病の発生源になるので、根を完全に除去する必要がある。

新植の場合、苗の植え付け距離は3～3.5mで、10a当たり80～110本を植え付ける。樹冠の広がりに合わせて間伐を行い、最終的な栽植距離は6～7mにして、10a当たり20～27本の永久樹を残すようにする。

台風による被害を受けた樹の管理

11月1日現在、5個の台風が日本列島に上陸または接近した。千葉県のプロダ産地では大きな被害はなかったようだが、倒伏した樹は起こし、損傷の程度に応じて枝を切りつめる。起こせない場合は、管理しやすいように枝を整理する。根が地面に露出しているところは、覆土をして根の回復を図る。バーク堆肥と一緒に混ぜると、細根の再生が促され樹の回復が早い。白紋羽病の恐れのあるところは農作物病害虫雑草防除指針に従って防除する。

樹及び花房の発育

今夏は好天候だったため、樹の発育は順調である。着花房率は表2に示した。本年の着花房率を品種別にみると、「楠」が93.2%、「大房」が92.6%、「田中」が88.2%で、3品種共に前年よりはやや低いが、平年より著しく高い。枝別にみても、中心枝、副梢共に着生は多い。また、花房の大きさは全般的にやや小さく、1つの花房に着生する花数は少ない。本年のように、ほとんどの枝に着花するような場合は、結果枝の伸びが悪く、花房が貧弱である。また、開花期が揃いやすく、幼果が寒害を受ける可能性が非常に高まるので、様々な発育段階の花房が混在するように摘房・摘蕾作業を行う必要がある。

本年の出蕾期は平年よりやや遅れ、発育の遅い花房も多く見られる。しかし、10月の気温は平年より高かったため、発育の早い花房から開花が始まっている。11月1日時点で「楠」及び「田中」の開花は始まったが、「大房」の開花は始まっていない。開花の早い園では、寒害の影響を強く受けることも予想される。

クワゴマダラヒトリやアブラムシの発生は平年並である。本年はカメムシのエサとなるスギ、ヒノキの球果が平年より多いため、来年のカメムシ発生量が多いと見込まれる。詳しくは、病害虫防除課の発生予察情報を参考にする (<http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/nourin/boujo/index.html>)。

表2 着花房率(暖地園芸研究所)

品 種	本年 (%)	平年 (%)	前年 (%)
楠	93.2	77.1	99.0
大 房	92.6	71.3	95.1
田 中	88.2	73.6	96.7

平年：1974年～2010年の37年間の平均

【問合せ先:千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹・環境研究室 電話0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産者向け情報」でもご覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/nousui/nourinsuisan/nourinsuisan.html>